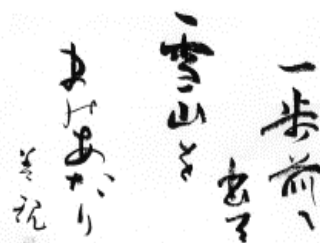




# 一歩前へ



糸魚川市立下早川小学校 標高 92m 児童数 67 名 令和 5 年 1 月 10 日発行 第 11 号

URL <https://www.itoigawa.ed.jp/tukimizu/>または[下早川小学校](#)で検索（カラー版でご覧いただけます。）

## 令和 5 年のスタートです

令和 5 年がスタートしました。大雪か！と言われていたこの冬ですが、ふたを開けてみると、思ったほどの積雪にはならず…といったところですが、学校的にはスキー学習をどうしよう…と心配しているところです。

そのような中ですが、3 学期が始まりました。今年もまだコロナ禍が収束したとは言えず、さらにはインフルエンザも流行しつつあるという状況での教育活動となりますが、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、意欲をもって各活動に取り組むことができるような環境をつくり、指導していきます。今年もどうぞよろしく願いいたします。



令和 5 年はうさぎ年(卯年)です。ここ数年、1 年生がうさぎを飼っていてなじみ深い干支です。

今後、感染状況や天候等にもよりますが、各種の対応策を講じた上で、計画している行事はできる限り実施していきたいと考えております。いろいろとご協力をお願いすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。ご不明な点やお気づきの点がありましたら、ぜひ学校へご一報ください。

## 学校に寄付をいただきました

12 月のある日、出張から戻ってみると机の上に 1 枚のメモが載っていました。そこには岡田様という方から電話があり、「校長にぜひ会って話したいことがある」といった内容がメモされていました。

「何だろう」と思いつつ、後日お会いして話をお聞きしたところ、お電話の主は新町の元糸魚川市人権擁護委員の岡田晋様でした。岡田様は、旧下早川中学校（懐かしいですね！）の卒業生で、11 会（いいかいとお読みするそうです）という同級会の役員で、長らく会を行ってこられたそうです。最後の同級会をして同会を解散することになったのだそうです。

その際、会計から余剰金が発生したため、会員で分配することも考えられたのだそうですが、それよりも後輩である下早川小学校に寄付をし、教育活動に役立ててもらおうということに皆さんの意見がまとまったそうです。「10 万円あるから教育に役立つものを買ってください」とのありがたいお話でした。

そこで早速校内で検討しましたところ、図書室の本がまだ少なめなので、百科事典などをいただきたいとお願いしました。現在、注文をしていただき、届くのを待っているところです。本が届き次第、受領の会を行う予定です。ありがとうございます。

## ☆年頭の所感？

1月10日(火) 始業式の講話より

皆さん、新年あけましておめでとうございます。冬休みは楽しかったでしょうか。前にお話ししたお手伝いはたくさんしましたか？休み時間に、冬休みの話をたくさん聞かせてください。

ところで、冬休みの宿題はばっちりやってきましたか？いろいろやることがあって遅くまでかかってしまった人もいるかもしれませんね。

昔、冬休みの宿題に、「年頭の所感(ねんとうのしょかん)」というものがありました。作文を書いてくる宿題なのですが、その年に頑張りたいこと、実現したい夢、将来の希望などを書くものでした。私の場合、頑張りたいことは三日坊主になってしまうことがほとんどでしたが・・・

12月に4～6年生の皆さんは元オリンピック代表の駒村俊介選手のお話を聞きましたが、その中で駒村さんは「夢をもつことが大事」と話をしておられました。駒村選手は、「オリンピックに出る」という夢をもち続け、いろいろと苦しい時期もあったそうですが、それに向かって努力をひたすら重ねることで、夢を実現したそうです。とてもすごいことだとお話を聞いて思いました。

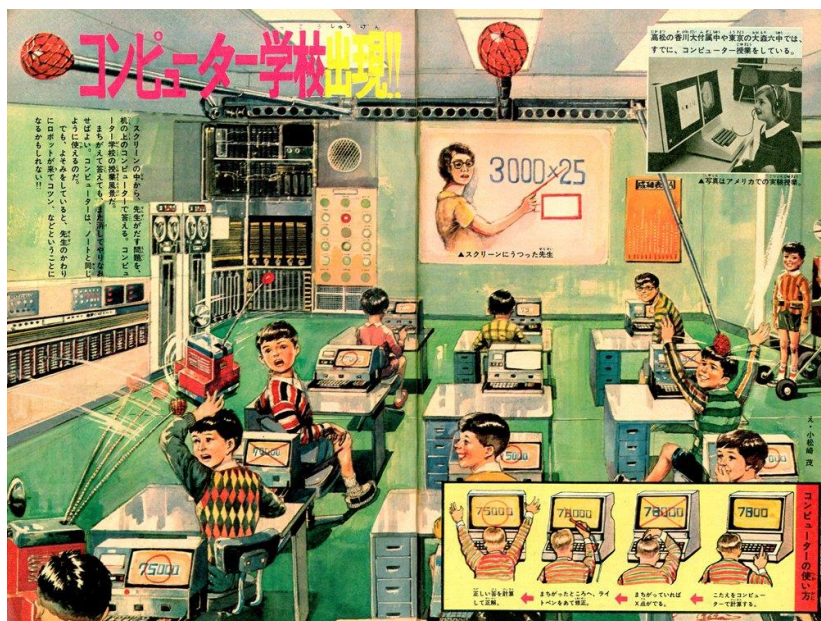
将来の夢をもってそれに向かっていくことがとても大事です。ぜひ、新しい年のスタートにあたり、すでに夢を持っている人はそれに向かってどんな努力をしていくか、まだ決まっていない人は、はっきりとしたものでなくてもいいから「将来こんなふうになりたいなあ」ということを考えてみてください。

それは途中で変わってもいいのです。私はなりたい将来の自分が変わったことを夏休みの時にも話しましたが、それでいいのです。大事なのは夢や将来に向かって努力すること。「年頭の所感」の作文を書きなさいとは言いませんが、ぜひ「自分のみらい」を考えてみてください。

最後に一つ、本を紹介します。「昭和ちびっこ未来画報 ぼくらの21世紀(初見健一、青幻社刊)」という本です。この本は今から50年くらい前、子ども向けの雑誌に「未来の世の中はこうなっている」という記事がよく載っていたそうなのですが、それらをまとめた本です。

そこに書かれている未来は、当たっていないものもあるのですが、当たっているものもたくさんあります。その一つは学校です。形は違いますが、一人一人コンピュータを使って勉強しているのは、今の学校に似ていますね。

こんなふうに自分たちが大人になる頃の「みらい」を想像して、それを実現するために努力する、というのもよいかもかもしれません。ぜひ、いろんなことを考え、それを実現するために頑張る、この令和5年の始まりを、そんなときにくれたらうれしいです。



十二月旬会の秀句 ※十二月号で紹介できなかった秀句です		クリスマス プレゼントだ うれしいな	はくちようは さむいところも きにしな	おおみそか いとことゲーム ねたふりだ	クリスマス キラキラかがやく よるのまち	赤色の えがお咲く ポインセチア	みかん食べ 皆黄色 家族のつめが
--------------------------------	--	-----------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	---------------------	---------------------